

にぎわい

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～ 平成18年1月号

Vol. 91

アムステルダムが青森港にやってきた	1
あなたは海の博士	3
雪山に「なまはげ」が舞う	5
この冬も 東北の日本海地域は魅力満載!	5

会員だより

青森県青森市

アムステルダムが青森港にやってきた

青森港では、平成15年に客船専用バースとして、新中央埠頭の暫定供用を開始しました。その新中央埠頭に、大型外国クルーズ客船アムステルダム（ホーランドアメリカライン社：61,000t）が、平成17年10月17日に寄港しました。

青森港にはこれまでも、飛鳥、にっぽん丸、ばしふいっくびいなす等のクルーズ客船が寄港し、その都度、青森港国際化推進協議会で歓迎セレモニーを行っていますが、ここまで大きいクルーズ客船は今まで寄港した例がなく、青森港開港以来最大級のクルーズ客船の寄港に、歓迎のために出迎えた関係者は一様に感嘆の声をあげていました。ということで、今回はその当日の様子をご紹介します。



入港・・・歓迎セレモニーでお出迎え

当日は好天に恵まれ、大型のプレジャーボート1隻に「WELCOME」、さらに4隻の小型船舶にも「WELCOME TO AOMORI」「WELCOME TO JAPAN」の文字を書いたボードをつけて、アムステルダムに伴走したほか、船が接岸するまでの間、ねぶた囃子でアムステルダムを迎えると、船内から大勢の外国人乗船客が甲板に出て、手を振って応えてくれていました。

佐々木青森市長から船長へ
記念品の贈呈

ハネトと記念撮影

歓迎セレモニーでは、青森港国際化推進協議会会長である佐々木誠造青森市長の歓迎あいさつの後、協議会から船長、乗組員、乗客の代表に記念品を贈呈。その後、民謡手踊りの披露、ねぶた囃子の演奏で乗客を迎えました。

また、セレモニー終了後も埠頭では、ねぶた衣装の試着体験や、ミニねぶたをバックにしての記念撮影、焼きそばの無料試食、民芸品店の出店などを実施しました。これには乗客の皆さんも大いに喜んでくれたようです。

市街地を散策・・・配置した通訳ボランティアがサポート

今まで青森港に寄港したクルーズ客船とは規模が違い、乗客が 1,400 人とケタ違いに多く、しかもその乗客の乗るツアーバスが 10 台以上埠頭から出発した後も、船から乗客が“わんさか”降りてくるという、今までの客船歓迎では遭遇したことのない光景を目の当たりにしました。

接岸した青森港新中央埠頭の大きなセールスポイントの一つに「埠頭が市街地に近い」という点が挙げられます。船から降りて 10 分も歩くと商店街につくという利便のよさは他の港には見られない特徴です。当日は、大勢の乗客が青森の中心商店街に繰り出し、街中を散策していました。

協議会ではこの点を考慮し、埠頭だけでなく、市街地の交差点など人の集まりそうな場所にも通訳ボランティアを配置して乗客の対応をしました。また今回は、ファーストポート（日本での最初の寄港地）だったため、銀行で日本円に両替をする乗客も数多くいたそうです。



中心商店街を散策する乗客



通訳ボランティア

出港・・・園児も名残惜しんだ別れ

出港の時間に合わせ、青森を満喫した乗客の方々もぞくぞくと船へ。すっかり日が落ちた新中央埠頭に、青い鳥保育園の園児たちが訪れ、点灯されたミニねぶたをバックに和太鼓の演奏とマスゲームを披露してアムステルダムの見送りをしてくれました。また、「蛍の光」の演奏とともに、埠頭に集まった 500 人も市民と、園児たちが一緒に、出港するアムステルダムにペンライトを振って名残を惜しましました。



園児による太鼓の演奏



見送りをする園児と市民

2006年5月には姉妹船のスタテンダム（55,451t）の寄港が、また2007年10月には再びアムステルダムの寄港が決まっている青森港ですが、今後もさまざまな趣向をこらし、寄港を歓迎したいと思います。

あなたは海の博士

～ 海の博物館 山形県酒田海洋センター ～

酒田港



山形県の母なる川「最上川」の河口に位置する酒田市。湊町酒田は、かつての北前船の往来により賑わい、繁栄してきました。その面影が今も残る酒田港・本港地区に「山形県酒田海洋センター」があります。

当館は、山形県庄内総合支庁建設部港湾事務所の三階にあり、海洋に関する知識を普及し、海洋国日本が海運によって繁栄してきたことを認識してもらい、さらに海事思想と海洋開発の必要性を知っていただくことを目的とし、昭和 46 年に開館、今年で 36 年目を迎えました。

館内は各テーマごとにセクションを設け、親しみやすく・分かりやすく・興味をもてるように展示しております。また、最近、館内全体が見渡せ、広く・ゆとりを感じられるようにリニューアルしました。船の模型を中心に据え、あらゆる角度で見てもらえるよう配置し、壁紙を張替え、展示品や書簡の整理等を行い、明るく・見やすく・使いやすくなりました。以下、各セクションごとに館内をご案内いたします。



当館に入ってまず最初にご覧いただくのは [歴史部門] です。ここでは酒田港の古い写真と今昔を見ることが出来ます。また、古文書・古絵図など貴重な資料も展示されています。

少し奥に進みますと目に入るのが船の模型の数々です。大小 20 数点の模型が展示されております。とくに中央に配置されてある全長 4 メートル近くもある「大型タンカー」の模型は圧巻です。また、「働く船」も多数展示しており、みなとを学習するのにも最適です。

船の模型の隣に併設してあるのが 100 インチの大型スクリーンを使用したインフォメーションコーナーです。

手前の画面よりタッチパネルでの操作となり、酒田港はもちろん、県内の各港や酒田港とコンテナ航路で結ばれている釜山港を紹介するビデオを上映しております。また、クイズコーナーもあり、子供からお年寄りの方まで楽しんでいただいております。



大小さまざまな船の模型が展示されています



大画面で分かりやすく学習できるインフォメーションコーナー

さらに奥の方に進みますと、子ども達に人気の操舵室があります。ここに展示してあるものは、すべて実際に船舶で使用していたものであり、それに触って・操作して・体感することが出来ます。特に大型の「舵」は大人気で、まさに「大航海時代」を思い起こさせてくれることでしょう。



他にも、税関や入国管理の仕事を紹介する [税関部門] [入国管理部門]、山形県の漁港をモチーフに漁法や魚などを紹介する [水産部門] などがあり、さまざまなことに興味を持ちながら楽しく学べるところとなっています。また、最近 [北前船コーナー] や [飛鳥コーナー] を新設し、多くの方々に興味を持っていただけるよう展示しております。

◀「操舵室」は子ども達に大人気！



さらに、らせん階段を上がっていきまますと展望室にたどり着きます。ここからは、酒田本港をはじめ、酒田市内を一望することが出来ます。また、天気の良い日には[鳥海山]や[月山]はたまた本県唯一の離島[飛島]まで見ることが出来ます。本港を入出港する船舶を眺めるにも格好の場所であり、日本海に沈む夕日も見ることが出来ます。

◀ 展望室から望む鳥海山と市内一円

館内の一角にはゆっくり休憩できるスペースも用意しております。

酒田港に入港した船舶との交流の証である[ブラク]の展示や、港に関連した書籍や雑誌も用意してあり、自由にご覧になれます。また、パルコニーからは[飛島]への定期就航船[ニューとびしま丸]の入出港を見ることができて、好評をいただいております。



外を眺めながらゆっくり休憩 ▶

酒田港は昨年「みなとオアシス」に認定されました。当館もその一角を担っており、周辺の施設と連携をとりながら“みなとの賑わい”に貢献していきたいと思っております。

現在、当館は県が管理し、「NPO法人庄内海浜美化ボランティア」に運営を委託しておりますが、来年度からは指定管理者制度のもと、同法人が管理を行うこととなり、総合学習拠点施設等さらなる活用が期待されています。

みなさまからのご来館を心よりお待ちしております。

<お問い合わせ>

〒998-0036

山形県酒田市船場町二丁目 5-15

(山形県庄内総合支庁建設部港湾事務所内)

TEL: 0234-26-5642

FAX: 0234-22-5216

URL: <http://www.sakata-minatomuseum.jp/>

トピックス

市民主導によるみなとまちづくりを！

～酒田北前みなとまつり開催される～

江戸時代、日本海地域から大阪や京都、さらには江戸へと物資を運ぶために「河村瑞賢」が「西廻り航路」を開拓したことで、多数の交易船「北前船」が往来し、日本各地が繁栄しました。湊町酒田も「北前船」の寄港地として多くの“もの”や“人”が行き交い、賑わいをみせた地の一つです。

平成 17 年 10 月 22 ～ 30 日、NPO 法人極楽鳥海人の主催により開催された「酒田北前みなとまつり」によって、山形県酒田海洋センターやその周辺地区が賑わいをみせました。このまつりは、今後予想される北東アジア地域との交流拡大に備え、酒田港をより市民に愛される賑わいの空間にするべく、社会実験として行われたもので、9 日間の開催期間中多彩なイベントが行われました。

ここ海洋センター内には、開催期間を通して「北前船資料館」が登場。これまで同センターで展示されてきた海や港、船などに関する資料や模型に加え、北前船の歴史や、地元小学生が海辺等をフィールドに実施してきた総合学習の様子が紹介されるなど、来場者の方々には、地域の歴史を分かりやすく学習することが出来る海洋センターの楽しさを再認識していました。また、29日には「21世紀の北前船 国際化シンポジウム」が開催され、地元選出の衆議院議員 加藤紘一氏や齋藤弘山山形県知事をはじめとした地域代表者の方々と多くの市民とが一体になって「地域の国際化」を考え合いました。「北東アジア地域との交流拡大に備えた国際化に向けて、NPOや市民レベルの取り組みを進めていこう」との提言がなされるなど、地域を愛する心を再度確認し合えた場となりました。



北前船資料館



地域国際化を語り合ったシンポジウム

雪山に「なまはげ」が舞う

～ 第 4 3 回なまはげ柴灯まつりが開催されます ～

全国にその名が知られている「なまはげ」。古くから伝わる風習は今もなお、男鹿の各地で行われています。なまはげは年に一度、年の変わり目に家々を巡り、悪事に訓戒を与え、厄災を祓い、祝福を与えて去っていきます。各家では豊作、豊漁、吉事をもたらす来訪神として丁重にもてなします。「急げ者はいねが(いないか) 泣ぐ子はいねが」と練り歩く姿はよくご存知と思います。この習俗は昭和53年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

「なまはげ柴灯まつり」は男鹿真山神社の古例神事「柴灯祭」と「なまはげ」を組み合わせた冬の観光イベントで、毎年2月中旬に開催されます。雪の舞う中、会場となる真山神社境内に



なまはげ太鼓



勇壮な姿で下山する「なまはげ」

松の木で柴灯火を焚き上げ、荘厳な雰囲気の中、「湯の舞」という祓い神楽に始まり、「なまはげ太鼓」「なまはげ踊り」等、多彩な催しものが繰り広げられます。まつりが最高潮に達するのは「なまはげ下山」で、闇の中から松明をかざした15匹のなまはげが現れ、雪山から降りてくる勇壮な姿は幻想的で神秘的にあふれ、見るものを魅了します。

この冬は男鹿市が誇る観光イベント「なまはげ柴灯まつり」を是非ご堪能下さい。「なまはげ」が皆様をお待ちしております。

<日 時> **2月10日(金)・11日(土)・12日(日)**
17:50～19:40(3日間共通)

<場 所> **真山神社**
(男鹿市北浦真山山水喰沢)

<お問い合わせ>

男鹿市観光課 TEL:0185-23-2111
男鹿市観光協会 TEL:0185-24-4700
URL <http://www.namahage.ne.jp/ogakk/topic/sedo/>

この冬も 東北の日本海地域は魅力満載！

～ まだまだ多彩なイベントが多数開催されます ～

**2/10(金)
～2/12(日)**
9:00～19:00
(10日のみ10:00～)

青森県青森市



第28回青森冬まつり

毎年恒例の青森冬まつり。今年も、親子で遊べる滑り台、大型雪像、スポーツイベント「雪上運動会」「ザ・雪王」「雪合戦大会」を開催いたします。夕暮れから午後7時の終了までも、ペットボトル灯籠やイルミネーションツリーの点灯など、楽しい企画が満載です。

ザ・雪王(無料/小学生対象)
2/11～12開催。申し込みは当日直接会場へ

会場：青い海公園

雪上運動会(無料)
2/10～12開催。申し込みは当日直接会場へ

第16回あおもり雪合戦選手権大会(有料)
詳細については、
〒030-0802 青森市本町4丁目1-25(TEL:017-722-3355)
青森県雪合戦協会(青森青年会議所会館内)
にお問い合わせ下さい(申込〆切1/25)



<お問い合わせ>

青森冬まつり実行委員会事務局
(青森観光コンベンション協会内)
〒030-0823
青森市橋本2-2-17 青森県商工会館4F
(TEL:017-723-7211)

皆さんの自宅前などに作った雪だるまの写真を募集します！

写真の裏面に住所・氏名・電話番号・題名・制作基数・コメントを記入の上、
〒030-0823 青森市橋本2-2-17
青森冬まつり実行委員会事務局(青森観光コンベンション協会内)
へご投稿下さい(〆切2/24)

1/28(土)
～1/29(日)

青森県中泊町小泊



こどもり冬物語ツアー

冬の日本海の荒波を肌で体感！美しい波の華や郷土芸能等で楽しんだ後は、地元で水揚げされたばかりの新鮮な海の幸を思う存分堪能できます。

1日目

12:00 青森駅発
14:30 小泊地域着
14:30～18:00 荒波体験・海岸散歩
18:00～20:30 夕食(青森県産本まぐろ解体・地元料理)
宿泊(旅館・民宿)

2日目

9:00 旅館・民宿発
9:30～12:00 見学・体験
(徐福の像・卓立水産・小泊漁協加工所・小説「津軽」の像記念館・大タコつかみ体験・寒風の中での炭火焼タコと熱燗)
12:00～13:00 昼食
13:00 小泊地域出発
15:00 青森駅着



<お問い合わせ>

(財)小泊うみどりーむ振興公社
〒037-0522
青森県北津軽郡中泊町大字小泊字小泊 532
(TEL:0173-64-3942)

参加は有料となっております。(1泊3食付)

詳細についてはお問い合わせ下さい。申込〆切:1/23(月)

1/28～2/25

の間の
毎週土曜日

青森県深浦町



グルメ in ぶかうら

深浦町内のホテル・旅館等において、真冬の日本海で水揚げされた鮮度抜群の食材の数々を堪能できるほか、特産品が当たるお楽しみ抽選会や様々な趣向を凝らしたアトラクション等も行われます。地酒や各種ドリンクは120分飲み放題。

民宿プラン

【会場】
1/28(土) ---- 森山荘、美洋館
2/4(土) ---- 森山荘、美洋館
2/11(土) ---- 森山荘、美洋館
2/18(土) ---- 森山荘、美洋館
2/25(土) ---- 森山荘、美洋館

【募集人数】

各開催日先着50名
(森山荘 先着30名、
美洋館 先着20名)

宿泊・日帰りプラン

【会場】
1/28(土) ---- 深浦観光ホテル
2/4(土) ---- 黄金崎不老死温泉
2/11(土) ---- サンタランド白神
2/18(土) ---- みちのく温泉
2/25(土) ---- ウェスバ椿山

【募集人数】

各会場先着100名(予定)

各プラン・各日とも18:00～開催。
弘前・青森・能代から無料送迎バスを運行します。

<申込方法>

各会場における開催日の7日前までに、電話でご予約下さい。

(定員になり次第〆切)

参加は有料となっております。詳細についてはお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ>

深浦町観光協会
〒038-2324
青森県西津軽郡深浦町深浦字浜町 272-1
(TEL:0173-74-3320)
受付時間:9時～16時(無休)

1/21(土)
～1/22(日)

山形県酒田市

第19回酒田日本海寒鱈まつり

冬の荒波にもまれた寒鱈を1匹まるごと使った「寒鱈汁」を味わっていただけます。冬の寒空の中、熱々の「寒鱈汁」は格別の味！

味の暖簾街

【時間】11:00～16:00
(寒鱈汁は14:00まで)

【会場】中町モール
中通り商店街
さかた海鮮市場



寒鱈解体実演

【時間】21日・22日両日 11:30と12:30

【会場】中央公園
中町モール

太鼓演奏



寒鱈まつりピック抽選会 ほか

<お問い合わせ>

(社)酒田観光物産協会
〒998-0838
山形県酒田市山居町1-1-20
(TEL:0234-24-2233)
<http://www.sakata-kankou.gr.jp>

さかた海鮮市場では、1/28(土)～1/29(日)も開催されます。

【編集・お問い合わせ】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 総務室

TEL: 022-716-0001 FAX: 022-716-0017

E-mail: info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp